

# NO消費税

2025.12  
第412号

発行 消費税をなくす全国の会

〒114-0023 東京都北区滝野川3-3-1-201

TEL 03-3940-0401 FAX 03-3949-9885

●郵便振替 00130-2-16922 ●1部170円(送料共) \*1999年1月18日 第3種郵便物認可  
●ホームページ <http://no-shouhizei.com/>



● 目次 ●

国民の願いに背く高市政権	(1)	暮らし、生業に役立つ経済教室⑥	(6)
改憲・タカ派政権の危険性と脆弱性	(2)	エッセイ (日常生活も文化も破壊していく消費税)	(7)
東西南北(各地の取り組み)	(4)	みんなの声	(8)
		給付付き税額控除の問題点	



消費税ノーの宣伝に集まった福島の会の皆さん

**軍備増強は許さない**  
高市政権の危険な動きとして見  
過ごせないことは、軍事費増強を  
打ち出していることです。特朗  
プ氏との会談では、高市首相が米  
原子力空母の上で米兵を前に大軍

医療費4兆円削減や労働時間延長  
の規制緩和、国民を監視・統制す  
る「スパイ防止法」の制定など暮  
らしや平和、民主主義を脅かす政  
策がズラリ。国民の共感を得られ  
るはずがありません。  
いま、国民が切実に求めている  
ことは物価高対策、消費税の減税  
です。「なくす会」は、消費税減  
税・廃止への共感を広げることができます。

消費税ゼロ法を提出する  
ことは、立憲民主党は10月31日、  
食料品ゼロ法を単独で衆院に提  
出しました。同法案は給付付き税  
額控除とセットです。その問題点  
については今号8面に掲載してい  
ます。

消費税減税の声が高まる中、街  
頭での対話で「せめて食料品の消  
費税をなくしてほしい」という声  
をよく聞きます。その声をしっかりと受け止めながら対話を重ね、問題点を知らせ、消費税5%への減  
税・廃止への共感を広げることが  
大切です。立憲民主党は10月31日、  
市営バスの無料化、保育の無償化、  
最賃引き上げを公約。財源はもう  
かっている大企業や一部の富裕層  
への課税強化です。勝利のカギは  
草の根の力。9万人がボランティ  
アで参加し200万戸以上を戸別

## 食料品ゼロで価格は下がる?

法変えれば戦争税に絶対させない、と誓いを新たにしました。  
一方、アメリカ国内では最大都市のニューヨーク市で、反トランプを掲げ、「民主的社会主义者」を公然と名乗るゾーラン・マムダニ氏が市長選で歴史的な勝利を収めました。高騰する家賃の凍結、市営バスの無料化、保育の無償化、最賃引き上げを公約。財源はもう

訪問したといわれています。  
「なくす会」も35年間、消費税をなくしたいと願う人たちと手を取り合って「草の根の力」を發揮してきました。「消費税減税の絶好のチャンス」。この機会を逃さずさらに底力を發揮するときです。